

特定非営利活動法人 藍住町手をつなぐ育成会
児童発達支援評価票（平成30年度）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	5		・体を動かすスペースは十分ではないが、学習と活動する部屋で分けて支援を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1		・非常勤職員や学生アルバイトなどで、人数が多い日は対応している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	5		・男性女性兼用のトイレであり、分けることが難しく、配慮していく必要がある。 ・児童発達支援に特化した施設整備ができていないため、必要に応じて随機随在に対応している。
業務 改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2		
	⑤	家族等向け評価表により、家族等に対して事業所の評価を実施するとともに、家族等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			
	⑥	事業所向け自己評価表及び家族向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				・現在、外部評価を行ったことがない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・様々な研修会など積極的に参加をしている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	4		
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8			
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3		・行事や活動など、会議等で検討しているが、一層の検討をしていく必要がある。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3		・色々な活動ができるように、新しい余暇活動グッズなどを考え増やしている。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	5	3		・子どもの状況に応じて、個別に計画を作成している。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2		・打ち合わせの時間を設定していないが、職員相互で取り決めをして役割共有している。 ・適宜行っている。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	4		・打ち合わせの時間を設定していないが、その日のできことや気になる点などは、職員間で共有を行っている。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・毎月、会議等を開催して情報共有し、改善につなげている。
連携	⑲	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・年2回以上実施している。
	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2	1	・相談支援事業所の会議が未開催
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	4	1	・一層の連携体制を作っていく必要がある。 ・相談支援事業所の担当者との直接的な連携はないが、幼稚園や他の事業所とは、適宜連携している。

関係機関や家族等との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の在宅支援のため、地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	3	・該当者がいない。	
	②③	医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	3		
	②④	移行支援として、保育所や幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	2	1	・情報収集に努めているが充分とは言えない。
	②⑤	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	2	1	・相談支援専門員等と情報共有することはあるが、支援内容の伝達が不十分なことが多く、意向支援に関する取り組みには課題が多い。
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	1	・研修等に定期的に受講しているが、専門機関との連携はまだ不十分である。
	②⑦	保育所や、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	5	1	・他の通所事業所等とは、スポーツなどを通じて交流がある。障がいのない子どもとの交流はない状態であり、交流を深めていく必要がある。
	②⑧	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2	2	
	②⑨	日頃から子どもの状況を家族と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・連絡帳にその日のできごとや活動内容を記載している。
	③⑩	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1	6	1	・過去にペアレント・トレーニング研修を実施したことを振り返り、さらなる研修の機会の必要性を感じる。
	家族等への説明責任等	③①	運営規程、利用者負担等についていねいな説明を行っているか	8		
③②		児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示して支援内容の説明を行い、家族から児童発達支援計画の同意を得ているか	8			
③③		定期的に、家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			・その都度の対応を行い、必要であれば面談を行っている。
③④		父母の会の活動を支援したり、家族会等を開催する等により、家族同士の連携を支援しているか	4	3	1	・親子交流会や親子遠足など、多くのご家族に参加していただけるように計画、実施している。 ・父母会・家族会の組織はないが、行事などを利用して交流できる場は設けている。
③⑤		子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに子どもや家族に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			・苦情の内容等を会議で検討して、可能な限り迅速に対応するよう努めている。
③⑥		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや家族に対して発信しているか	8			・ホームページに活動内容を掲載したり、「オレンジノート」だよりを配布するなど、わかりやすく、実施状況を伝えるようにしている。
③⑦		個人情報の取り扱いに十分注意しているか	8			
③⑧		障がいのある子どもや家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			・親子交流会や親子遠足等、コミュニケーションをとることができる機会は設けているが、不十分であり、配慮をしていく必要がある。
③⑨		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8			・お祭りなど地域住民を事業所に招待をしているが、参加者はまだ少なく、引き続き行っていく。
家族等への説明責任等		④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	2	
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		・年2回の防災訓練を実施しているほか、防災センターなどに行き、体験も行っている。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5	3		・予防接種の状況は確認できていない。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		6	2	・アレルギーの把握ができていない。 ・食物アレルギーの有無の確認は利用開始時に行っているが、現在は対象の児童がいない。 ・該当者がいない。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			・ヒヤリハット報告で職員間で情報共有、協議を行い、改善に取り組んでいる。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			・虐待防止研修等に参加し、適切な対応に努めている。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や家族に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか	4	4		